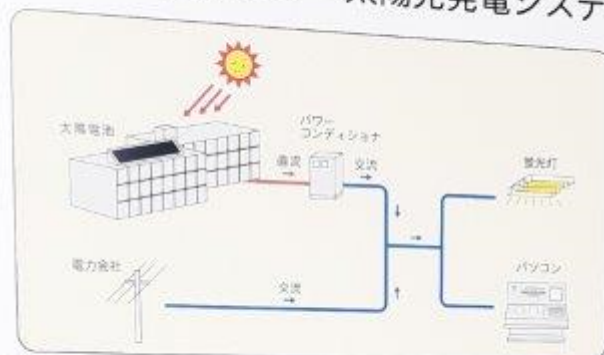


(別紙3)

衛生環境研究センター太陽光発電システム



大分県衛生環境研究センターでは、屋根材の一部に20kWアモルファスシリコン太陽電池を使用し、センター内で必要な電力の一部をまかなっています。

このシステムは、太陽の光を利用し、光エネルギーを直接電気エネルギーに変換して発電を行うもので、公害物質や二酸化炭素の排出のないクリーンで地球環境に優しいシステムです。



この太陽光発電設備は大分県と新エネルギー技術総合開発機構 (NEDO) が共同で設置したものです。
(平成15年2月設置)